

平成30年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 足助商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考			
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D 評価					目標		
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値		総合評価	実施側の評価	調査結果				満足度	補足
巡回・窓口相談指導事業	一般的に経営基盤の脆弱な小規模零細企業の健全な経営改善と育成を図るため、経営指導員を中心に商工会全職員が個々の企業と積極的に接触して相談指導を行う。	・巡回窓口指導実企業数 394社 ・巡回窓口指導延件数 797件 ・非会員巡回窓口指導実企業数 67件 ・非会員巡回窓口指導延企業数 81件 ・課題解決提案件数 22件 ・経済動向調査 30件 ・経営革新承認件数 0件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 128.5 %)	620	797	指標 課題解決提案件数 (達成度 110.0 %)	20	22	地区内小規模事業者の経営状況の把握と課題解決による信頼構築	総合評価 A	実施側の評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 ①下げる②現状維持	計画的地区別担当を割り当てた巡回指導を実施する	○
記帳継続指導事業	商工会会員である個人事業主を対象に行う。正しい簿記、確定申告の指導。適切な税務申告と経理の自計化による経営向上のお手伝い。	指導企業数 61件 指導日数 427日 指導回数 948回	商工会会員 (主に個人事業主)	指標 記帳指導対象事業所数 (達成度 100.0 %)	61	61	指標 (達成度 %)			記帳継続指導の充実を図るとともに、マイナンバー制度の必要性の理解を得るため考慮しながら記帳指導を行った。	総合評価 A	実施側の評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 現状維持	消費税の増税に伴う記帳指導	
講習会等開催事業	ニーズにあった講習会を効果的に実施することにより、小規模事業者にとって必要な知識の習得、資質の向上、円滑な事業の運営を図ることを目的とする。	個別講習会 金融 1回 3名 税務 2回 37名 集団講習会 経営革新 1回 0名 経営一般 1回 7名 その他 1回 21名 税務 1回 30名 事業計画策定支援(国補助金のため別事業) 4回 16名 計画策定16社	地区内小規模事業者及び関係従業員	指標 講習会等参加人数 (達成度 106.5 %)	92	98	指標 (達成度 %)			小規模事業者及びその従業員の知識の習得、資質の向上。	総合評価 A	実施側の評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 下げる	会員のニーズに合わせて、多くの事業者に参加いただける講習会を検討する。	○
若手後継者等育成事業（青年部・女性部）	商工業の後継者である青年・若手後継者及び商工業に携わる女性に対し、各種講習会・講演会や視察研修などを通じ部員の経営に必要な資質向上を図る。	青年部 講習会 2回 8名 視察研修 1回 7名 地域振興事業 2回 21名 女性部 視察研修会 2回 43名 地域振興事業 2回 23名 若手後継者育成事業 青年部 3回 26名 女性部 3回 41名	商工会青年部、女性部もしくはその配偶者	指標 青年・女性部参加人数 (達成度 119.9 %)	141	169	指標 (達成度 %)			若手後継者に必要な経営等の知識の習得や資質の向上に役立てることができた。	総合評価 A	実施側の評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 上げる	若手後継者育成により努め、地元産業の一助とした。	
地域振興祭事業	各種お祭り、祭事等を実施することによりその集客力を活かして、地域経済活動を促進し地域産業のPR(地産地消、文化遺産、観光資源等)の機会とする。とともに地域の総合的な振興を図ることを目的とする。	あすけルネッサンス 5/3・5/4・5/5 30人 おいでん地区 イベント 6/30 26人 あすけ夏まつり 8/5~8/13 50人 商工まつり 10/28 50人 中馬のおひなさんなど他団体と連携 巴川駄まつり、香嵐溪もみじまつりの協賛	地区内事業者	指標 参加人数 (達成度 120.0 %)	130	156	指標 (達成度 %)			イベントを通じて地域への来場者の増加、商店街の賑わいの創出。	総合評価 A	実施側の評価 A	調査結果 A	満足度 B	補足	目標 現状維持	商店街を活性化させるイベントの創出。	
商店街・街づくり事業	衰退し続けている地域唯一の足助中央商店街の活性化を図り往時の賑わい創出することを目的とする。	げんき商店街推進事業の活用 商業活性化交付金推進事業の支援 足助地区まちづくり会議への参加による指導 空き店舗の活用 1件	地区内事業者	指標 空き店舗の活用件数 (達成度 100.0 %)	1	1	指標 (達成度 %)			商店街への消費者の流入増加、商店街内の事業者の売上増加	総合評価 A	実施側の評価 A	調査結果 A	満足度 B	補足	目標 現状維持	チャレンジショップの事業化に向けた計画・地盤づくり。	○
産業活性化事業	当地区の紅葉や町並み等の価値の高い地域資源を連携させて、観光産業の活性化を図り事業者の経営改善に取り組み、特産品の開発普及・PRなどを行い地産産業の育成を図るとともに、観光客に向けて魅力的な商品を開発・販売し観光産業の活性化を図り産業振興に取り組み観光客の増加を図り地域産業の活性化につなげる。	販売会・展示会への参加 2回 よたの特産品展 1回 豊田市の行った商談会等への参加回数 2回 計 5回	地区内小規模事業者及び生産者	指標 販売会等の参加回数 (達成度 83.3 %)	6	5	指標 (達成度 %)			特産品の開発普及・PRなどを行うことにより、企業の発展及び地域産業の活性化に資することができた。	総合評価 B	実施側の評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足	目標 上げる	特産品の開発普及・PRについて拡大を図る。	
情報化推進事業	情報力不足な地区内小規模零細事業者の情報力を高め、販売促進、売上拡大、新規顧客獲得を図る。	ホームページ掲載事業所 29件(年間通じて)	小規模事業者及び中小企業者	指標 ホームページ掲載事業所数 (達成度 82.9 %)	35	29	指標 (達成度 %)			地区内事業者のPR等の情報発信力の向上。スマートフォンへの対応で認知度の向上。SNSの活用で認知度の向上。	総合評価 A	実施側の評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 現状維持	若手後継者(青年部・女性部)に更新をお願いし、地域の情報発信を図りたい。	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

平成30年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 足助商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価															
				目標①			目標②			得られた効果	総合評価	A	事業評価	A B C D 評価			今後の展開・改善点等	備考	
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値					自己評価	調査結果	満足度			補足
福利厚生事業	中小企業、小規模企業の経営、雇用の持続的な安定を図るために各種共済の普及や企業の健全な育成に資することを目的とする。	窓口指導、巡回訪問による各種共済の加入促進 ・小規模企業共済 72件 ・中小企業共済 235件 ・特定退職金共済 153件 計 460人	商工会会員とその従業員	各種共済加入者数 (達成度 92.0 %)	500	実績数値	460	指標	(達成度 %)	共済制度の普及と各企業の健全な育成に努めた。	総合評価	A	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	共済加入者の健康診断の補助事業のPRを行い、役員にも協力依頼して加入促進を図る。	
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続きを行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	適正な労働保険の推進 委託事業所 72件 一人親方労災加入者 56件	中小事業主	委託事業所数 (達成度 96.0 %)	75	実績数値	72	指標	一人親方労災加入者数 (達成度 96.6 %)	中小事業主の事務処理の負担軽減、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収。滞納事業所なし。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	委託事業所・一人親方労災加入促進。	
青色申告会・法人会事業	青色申告会・法人会等の税務支援団体・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては地域商工業の活性化を目的とする。	会員数 ・青色申告会 40人 ・法人会 113企業 合計 153人 実施回数（研修会・役員会等） ・青色申告会 4回 ・法人会 5回 合計 9回	小規模事業者、中小企業の内青色申告会・法人会	青色申告会・法人会会員数 (達成度 100.7 %)	152	実績数値	153	指標	同事業実施回数 (達成度 75.0 %)	法人会の会議開催や青色申告会の研修会等の参加を積極的に行うことで、地域社会への貢献や活性化に繋げることができた。	総合評価	B	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 B 必要性 B	満足度 B	補足	目標 ①上げる②現状維持 実施方法 両方現行どおり	法人会の会議開催や青色申告会の研修会等への参加を積極的に行っていく。	
産業団体事業	発展会や各種団体等、産業振興・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては商工業の活性化に資することを目的とする。	足助中央商店街（協） 三役会 2回 理事会 5回 監査会 1回 総会 1回 各地区支部会等 12回 合計 21回	協同組合、発展会等	各種団体が行う事業の指導回数 (達成度 63.6 %)	33	実績数値	21	指標	(達成度 %)	発展会や産業振興・地域貢献活動団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、地域社会への貢献や商工業の活性化に資することができた。	総合評価	B	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 B 必要性 A	満足度 B	補足	目標 下げる 実施方法 現行どおり	各産業団体の運営を指導して、その継続的発展を支援する。	
調査・広報事業	地区内の小規模事業者の経営状況を把握するため、経済景気動向調査を行いその結果を事業者により経営分析を行う。また需要動向調査も実施し、その結果を事業者に提供し売上増加を図る事業計画策定や伴走型支援に活用して効果的な指導につなげることを目的とする。	・小規模事業者を5業種（建設、製造、卸・小売、宿泊・飲食、サービス）の経済動向調査 30件 ・需要動向調査 8件	小規模事業者及び中小企業者	経済動向調査件数 (達成度 100.0 %)	30	実績数値	30	指標	需要動向調査件数 (達成度 80.0 %)	地区内の小規模事業者への景気動向と需要動向調査を行うことにより、事業者の経営状況の把握や事業計画策定に繋げることができた。	総合評価	B	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 B 必要性 B	満足度 B	補足	目標 両方現状維持 実施方法 両方現行どおり	調査を行うことにより、事業者の経営力向上等を図る事業計画策定の支援を行う。	○

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。